

今からでも知っとう。

結婚式のマナー講座 おしゃれ編

全身黒コーディネートはNG!

白がNGなのは周知のことながら、葬儀を思わせる全身黒のコーディネートもおめでたい席にふさわしくありません。無難で細く見ると人気の黒ワンピースも、結婚式ではボレロやショールに明るい色をセレクトしたり、靴やバッグなどの小物で差し色をしましょう。喪服をイメージさせる黒タイツも結婚式ではNG。「どうしても足元が肌色なんてとムリ!」という場合は、光沢や控えめな模様の入った透け感のある黒のストッキングでタイプを選びましょう。



サブバッグにブランド紙袋はNG!

パーティバッグとブランドネーム入りの紙袋の二個持ちをよく見かけます。確かにデジカメや化粧品ポーチなど、小さなパーティバッグには荷物が入りきらないですが、ブランドのものでも紙袋はあくまで紙袋。フォーマルな場で使うのはマナー違反です。サブバッグにはスマートなサイズで華のあるデザインを選び、会場には持ち込まずクロークに預けるのがマナーです。パーティバッグは見た目のデザインだけで選ばず、最低限必要なものが入るサイズを選ぶことが重要です。



生脚派は脚用ファンデでカバー!

夏はストッキングを履くか履かないかで悩む女性も多いでしょう。どうしても履きたくない派の方は脚のケアを念入りに。「ストッキングはいるの?」と見まごうくらい美しい脚に仕上げましょう。脚用ファンデーションなどを使用すれば、生脚っぽさも解消できます。ただし、格式あるホテルでの結婚式ではストッキングありのほうが無難です。



パンツスタイルもドレッシーならOK

オフィス向けのかちつとしたパンツスーツは、どんな結婚式でもNG。同じパンツスーツでもシルクやシフォンなどの柔らかな素材でスカート風のドレッシーなワイドパンツなら、格式あるホテルでの結婚式を除けばOK。カジュアルな結婚式でもクロップドパンツやスキニーパンツをセレクトしたい場合は、ドレッシーなトップスを合わせるなど、場を華やかにする組み合わせを工夫しましょう。